

宇宙飛行士からの メッセージ

3月18日 山崎直子さん

夢を描こう☆坂の上の雲未来塾

4月1日 向井千秋さん

宇宙飛行士講演会

菊池 戒

ぼくは、今年の春、生まれて初めて宇宙飛行士に会いました。山崎直子さんと向井千秋さんです。

2人の言葉を引用しながら、ぼくが受け取ったメッセージを紹介します。



2人から受け取った1番強いメッセージは、次の言葉です。



時間を忘れてしまうくらい楽しいことや、好きだなと思うことがあれば、その気持ちに素直になり、大切にしなければいけないのだと思います。

でも、将来進む道を考えるとき、好きなものがたくさんあって、1つに決められない人もいると思います。ぼくは、剣道と天体観測が大好きです。体を動かすことが好きです。また、数学にも興味が

あります。天文学者になりたいと思っていますが、今の生活が、すべて天文学者に向かっているわけではありません。しかし山崎さんは言います。



1つじゃなくてもいいですから、好きなことを見つけるといいですね。

と。

1つではなくても、好きだという気持ちを大切に育てていけば、1つの職業を選んでも、関係がないように思えることが役に立ち、自分らしい形で夢を実現できるのかもしれない。向井さんも、やりたいという気持ちに従って、医者から宇宙飛行士になられました。ぼくも、自分の素直な気持ちを大切にしていきたいと思います。

夢をつかむためには、しんどいこともあると思います。うまくいかないときもあるはずです。でも



自分の可能性を信じるのが大切

という言葉聞いて、自分を信じる気持ちが大切なのだとことが分かりました。



夢に向かうことは山登りのようだ

とも言っていました。

これは登る山に合わせてリュックに必要なものを準備して詰めるように、自分の夢に合わせて、その夢の実現のために必要なことを学んでいけばよい、ということです。

でも、夢は必ず叶うものではありません。向井さんは言います。



金メダルを取ることが夢だった人が、たとえ夢が叶わなくても、

何かに向かって努力したという充実感やその中での出会いはかけがえのないもの

だと。そして、一生懸命頑張ったことで、必ず出口は見えてくるし、方向が違って光が見えてくるのだと教えてもらいました。



夢をかなえるまでの人生もたいせつだけれど、夢をかなえてか

ら、どう生きるかが大切

という話は、なるほどな、と思いました。今までは、夢を叶えるまでのことを考えることが多かったからです。いつかぼくの夢がかなったときに、必ず思い出したいと思います。

宇宙に行くときは、事故の可能性もあり、命を落とす危険もあります。しかし2人とも



宇宙へ行くのは怖くなかった。



宇宙へ行くとき、宇宙飛行士みんなの目が輝いていた

と言っていました。向井さんは、宇宙に向かうスペースシャトルの中で嬉しくてたまらなかったそうです。



何度も何度も非常時の訓練をし、その対処法が身についていたので、全く怖いとは思わなかった。

とも言っています。ぼくは、少し分かる気がしました。剣道の練習でも、中途半端にしか練習していないと、試合前に緊張し、怖くなります。しっかり練習できているときには、試合をするのが楽しみになります。強い人は、しっかり練習をし、自信をもって試合を楽しんでいるのだと思います。



明日の朝がくるのが楽しみになるような人生を歩みたい

という言葉が心に残りました。毎日の生活では、いやだな、と思うこともあるはずです。でも夢を持ち、夢に向かって頑張っていれば、たとえ明日大変なことがあると分かっているとしても、自分が成長できると思い、楽しみに明日の朝を迎えることができる気がします。

ここで二人に直接会った時の印象と簡単なプロフィールを紹介しま
す。

☆山崎直子さん☆

印象 話すのがとてもうまく、フレンドリーな人だと思った。



1970年 千葉県松戸市に生まれる

1993年 東京大学工学部卒業

1999年 古川聡さん、星出彰彦さんとともに国際宇宙ステーシ
ョンに搭乗する宇宙飛行士候補者に選定される

2001年 宇宙飛行士に正式採用される

2010年 スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗

☆向井千秋さん☆

印象 とても明るくて前向きな人でした。



1952年 群馬県館林市に生まれる

1977年 慶応義塾大学医学部卒業

1985年 NASDA（現JAXA）より、パイロードスペシャリストとして、毛利衛さん、土井隆雄さんとともに選定される

1994年 スペースシャトルに搭乗

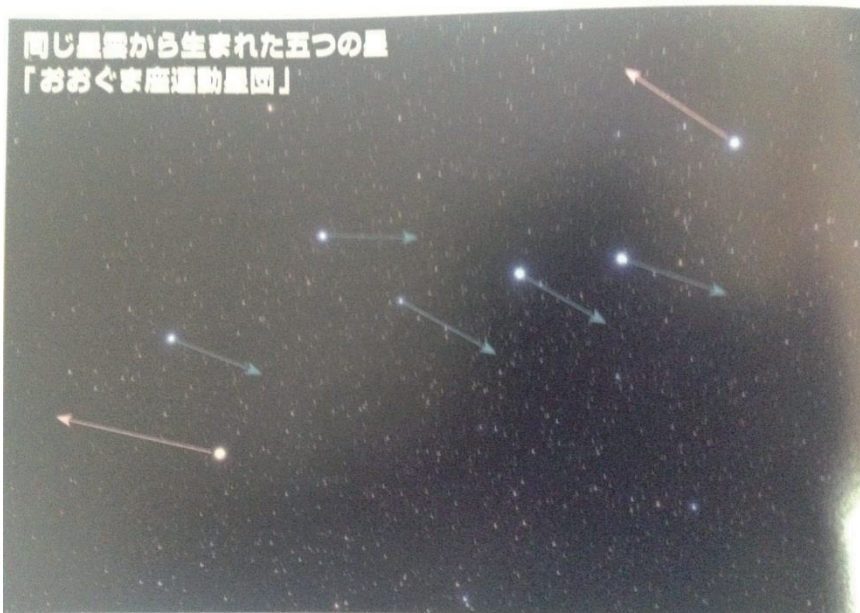
1998年 スペースシャトルに搭乗

2015年 東京理科大学副学長に就任

宇宙コラム

北斗七星の形が変わる？

北の空に輝く見事な形をなす北斗七星。みなさん、一度は見たことがあると思います。しかし、その形は長い年月の間にくずれていきます。北斗七星は、7つの星が仲良く並んでいるように見えますが、地球からの距離はばらばらで、また、それぞれの星が、ほんのわずかずつですが、動いています。ですから、数万年もすると、北斗七星の形もくずれてしまうのです。



中央の5つの星は「おおぐま座運動星団」で、ほぼ同一方向にゆっくり動いている兄弟星である。7つの星の中では、図の左端の星が地球から一番遠い。

(Newton 2017年4月号参照)